

# 闘春 2022年元旦

連合新潟中越地域協議会幹事会



## れんごう中越地協

第1096号 2022.1.1  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円  
購読料は会費に含む



### 新春にあたり

#### 連合中越地域協議会

議長 矢島 良彦

新年あけましておめでとうございます。日頃より中越地協の運動に大変ご理解を頂き、感謝申し上げます。

一昨年に引き続き、昨年コロナ禍により構成組織・加盟組合の多くの職場が甚大な影響を受けました。特に夏場における第五波は、感染力の強いデルタ株が急速にまん延し、本来入院すべき患者が自宅療養を余儀なくされる事態にまで至りました。こうした中で、組合員の様々な悩みに寄り添いながら、雇用と生活を守り、安全・安心な職場づくりを日々努力されてこられた皆さんに、心から敬意を表します。

また、これからの地協活動においても知恵を出し、衛生管理と3密回避、ソーシャルディスタンスを合言葉に安全・安心な活動を心掛け、ブレーキとアクセルを踏みながら慎重をきたして行ってまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

さて、世界は米国と中国の覇権争いが加速していく中、日本では岸田政権が新しい資本主義のあり方、「成長と分配」の経済政策に舵をきり、1億総中流化へ向けます。企業・労働者の賃金アップを要請し、その為の減税措置や仕組みの変更を検討していることは、連合政策にも通ずる真つ当な考え方であると思います。一年前の菅政権では無かった、国会論争で良識ある説明や納得できる落とし処への着地点に導く点において、信用できる内閣と感ずるのは私だけでしょうか。ただ現実には厳しく、ここ数年は国の借金も膨れ上がり、将来の国民への税金の付けを考えたならばその責任は重大です。経済活動による成長が果たして見込まれるのか否かですが、少子高齢化・労働力人口の減少で経済成長のペースは小さくなってしまいうトレンドではどのようにして企業の成長や産業の発展を見出していくのか、不安が付きまといまいます。AIやデジタル、自然エネルギー産業が優勢となることは理解できますが、既存の産業がゼロとなるわけではないので、産業構造の変化に柔軟に政治や行政が舵取りを行わなければならないと

労働組合は労働者の地位向上の為にあります。その重要な人が減少していく社会は考えにくいものがあります。連合は二〇三〇年組織拡大プランで八百万組織拡大を掲げ、これを受け連合新潟では十六万人復元へ向けて新たな組織拡大行動に移りました。「働くことを軸とする安心社会―まもる・つなぐ・創り出す―」は二〇三五年を展望した新たな政策パッケージと共にあります。地域協議会はその具体的活動を行うに起す役割を担っています。

こうした運動が、地域に顔の見える地協運動となって社会的責任を果たす重要な要素となるわけです。

最後に、一日も早く新型コロナを克服できるよう、また今年こそ大きな災害のない年となるよう祈願し、皆様の益々のご健勝・ご活躍を祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

あけまして  
おめでとうございませす



- |                |       |          |      |
|----------------|-------|----------|------|
| 議長             | 矢島 良彦 | U A セン   | 自治労  |
| 副議長            | 横澤 勝之 | U A セン   | 自治労  |
| 副議長            | 五十嵐 聡 | J A M 新潟 | 電機連合 |
| 副議長            | 野田 耕作 | J P 労組   | 電力総連 |
| 副議長            | 小堀 宏彦 | 情報労連     | 日教組  |
| 副議長            | 猪股 和樹 | 自治労      |      |
| 事務局長           | 小林 守  |          |      |
| 事務次長           | 長 滋徳  |          |      |
| 幹事             | 花垣富美代 |          |      |
| 幹事             | 飯田 浩二 |          |      |
| 幹事             | 田部翔太郎 |          |      |
| 幹事             | 押野見拓哉 |          |      |
| 幹事             | 星野 弘樹 |          |      |
| 幹事             | 石坂 拓朗 |          |      |
| 幹事             | 山口 学  |          |      |
| 幹事             | 岡村 和宏 |          |      |
| 幹事             | 米持 信也 |          |      |
| 幹事             | 安田 亮介 |          |      |
| 幹事             | 川瀬 貴之 |          |      |
| 幹事             | 五十嵐 厚 |          |      |
| 幹事             | 小嶋 高則 |          |      |
| 幹事             | 登坂 仁  |          |      |
| 幹事             | 長谷川邦彦 |          |      |
| 幹事             | 滝澤 将一 |          |      |
| 幹事             | 渡辺 陽介 |          |      |
| 幹事             | 萩野宗次朗 |          |      |
| 幹事             | 高野 真弓 |          |      |
| 幹事             | 岡地 英紀 |          |      |
| 幹事             | 齋藤 朱里 |          |      |
| 幹事             | 金内 孝永 |          |      |
| 幹事             | 木田由紀子 |          |      |
| 書記             | 丸山 斉  |          |      |
| 新潟県ライフサポートセンター |       |          |      |
| 相談員            | 佐々木光子 |          |      |
| 相談員            | 皆川 清市 |          |      |





### 新年のごあいさつ

長岡市長 磯田 達伸

世界が経済発展を遂げている中で、この30年間、日本経済は低迷を続けています。加えて、少子高齢化・人口減少が地域社会を直撃し、地方の活力が急速に失われるなど、大きな課題が山積しています。

今こそ、ポストコロナを見据えた経済発展政策、そして、地方の存続・発展のための強力な政策展開が必要です。

長岡市は、ウイルス禍で加速する「地方分散」の流れを的確に捉え、サテライトオフィスの誘致や、長岡に居住しながら首都圏企業にリモートワークで勤務する新しい働き方「NAGAOKA WORKER (ナガオカワーカー)」の取り組みを進めています。そして、移住・定住の促進やバイオなどによる新産業の創出に取り組み、人と企業が集まる政策を実施します。

現在造成中の「長岡北スマート流通産業団地」は、長岡北スマートインターチェンジに直結する交通の利便性の高さが評価され、21社の進出が決定しています。分譲引き渡しを行った区画では工場等の建設工事が進んでおり、令和4年度以降、順次操業が予定されています。新たな企業の進出を、地域産業のさらなる活性化や雇用の創出、定住人口の増加につなげていきます。

長岡駅前では、人材育成と産業振興の拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」の建設が進んでいます。令和5年度からの順次オープンに向け、市内4大学1高専が持つ知見と人材、ものづくり企業の集積を活かし、若者の起業・創業や地場産業の育成支援を通して、事業者の経済活動や若者の活動の活性化に取り組んでいきます。

10年先、100年先の長岡をつくるための「未来への投資」を行い、多くの人が集い、楽しみ、交流する中で、イノベーションが次々に生まれるまちづくりを進めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い年になりますことを心より祈念し、新年のあいさつといたします。

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。連合中越の皆様におかれましては、日頃から勤労者の地位向上や福祉の充実のため、積極的に事業に取り組みられるとともに、行政や関係機関との橋渡し役としてご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、社会が大きく変化する中、長岡市は感染対策に努めるとともに、事業者支援などの経済対策に取り組み、市民生活と地域経済を全力で守ってまいります。



### 新年のごあいさつ

見附市長 稲田 亮

に全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

連合中越の皆様におかれましては、日頃より勤労者の地位向上や福祉の充実に積極的に取り組まれていることに、深く御礼申し上げます。

さて、見附市長に就任してから、早半月が過ぎようとしています。選挙活動や日々の公務において、多くの市民の皆様から声援と激励をいただき、心から感謝申し上げます。それと同時に、皆様からの期待の大きさと責任の重大さを改めて実感し、身の引き締まる思いでございます。これから市民の皆様のため

さて、先の選挙戦において、私は「暮らし満足No.1のまち」を、見附の将来像に位置付けました。その実現のためには、次の4つの要素が必要だと考えています。

- ①働く場所があり、まちや産業が元気である
- ②子どもの声が聞こえ、子どもが笑顔で育つ
- ③誰も取り残されずに健康的で幸せに暮らせる
- ④暮らしの安心・安全が確保されている

これらの要素を、これからのまちづくりの中心に位置付け、市民の皆様へのニーズや世の中の情勢を取り入れながら、市民の皆様とともに見附の将来像を描いていきたいと考えております。その中で、これまでの施策を1つ1つ検証し、良い部分は継承する一方、必要な部分は見直しを行って財源や人材の確保に努めつつ、必要な施策をしっかりと進めてまいります。

一昨年から続くコロナ禍をはじめ、見附市の抱える課題はたくさんあります。人口減少社会への対応については、より多くの人から「住む場所」や「住み続けたい場所」として見附を選んでいただくため、子育て環境の充実はもちろん、働く場所の確保などを通して、今まで以上に住みやすさを向上していかなくてはなりません。その上で、新潟県のご真ん中というポテンシャルを生かし、県内外へ積極的に情報発信を行い、移住受け入れやUターン、企業誘致などを推進してまいります。

見附をより元気にするためには、ニットや農業、商店街など地場産業の活性化も欠かすことはできません。各産業の新たなチャレンジを支援し、異業種間の交流などを進めます。子育てについては、子どもの居場所や小児医療の充実など、環境整備を進めます。地域医療につきましても、市立病院の維持・充実をはじめ、地域医療の新たな担い手の確保に向けて取り組んでいきます。さらに、自然災害や感染症などへの備えもしっかりと進めます。本年は、こうしたまちづくりを進める「第一歩の年」となります。課題を一つずつ着実に解決していき、ふるさと・見附が「暮らし満足No.1のまち」となるように、市長として全力で取り組んでいく所存です。ぜひとも、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多い年であることを心より祈念し、新春を迎えてのごあいさつといたします。

**R ろうきん**

新春のお慶びを申し上げます  
本年も変わらぬご愛顧を  
賜りますよう  
お願い申し上げます  
二〇二二年 元旦

ろうきんイメージモデル  
高梨 臨

新潟ろうきん ☎0120-191-880 (受付時間9:00~17:00) 新潟ろうきん 検索

●休業日=月~金の祝日(振替休日含む)、5月3日~5日、12月31日~1月3日 ※1月4日、5日が土・日曜日の場合は休業日となります。

**謹賀新年**

こくみん共済 NEWS

本年がより良い年になりますよう  
心よりお祈り申し上げます  
今年もどうぞよろしくお願いいたします  
2022年 元旦

**こくみん共済(全労済)**  
全国労働者共済五協同組合連合会 ccop

たすけあいの輪をむすぶ

【こくみん共済 ccop】は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とよりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。